

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2017.10 >

BULLETIN

2017年7月～2018年6月



国際会長
アジア会長
東日本区理事
関東東部部長
クラブ会長

Henry J Grindheim「ともに、光の中を歩もう」(ノルウエー)
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)
栗本治郎「広げようワイズの仲間」(熱海)
長尾昌男「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」(千葉)
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会長 浅見 隆夫
副会長 西澤 紘一
書記 目黒 卓
書記 布上 征一郎
会計 浅見 クミ子
会計 佐野 守
監事 柿沼 敬喜
担当主事 松本 竹弘

10月 収穫感謝祭

「飢えていた人々をそこに住ませ人の住む町を固く立てられた。彼らは野に種を蒔き、ぶどう畑を作り、作物を実らせた。主が祝福されたので、彼らは限りなく増えた」
< 貧しい困難な時でも神さまが祝福されると実りを与えてくださいます >

(詩編107:37)

2017年10月 近隣5クラブ合同特別例会

EMC(E)/YES 強調月間

日時:2017年10月18日(水) 19:00～21:00
場所:東京YMCA東陽町センター 1階視聴覚室
江東区東陽 2-2-20 TEL03-3615-5565

～～プログラム～～

司会 相川達男君(江東クラブ直前会長)
開会点鐘 酒向裕司君(江東クラブ会長)
ワイズソング・ワイズの信条 峯岸友彦君
(ハイスайдクラブ会長)

会長挨拶 浅見隆夫君(グリーンクラブ会長)
ゲスト紹介 酒向裕司君(江東クラブ)
食前の感謝 村杉克己君(北クラブ会長)
食事(スマイル)

ゲストスピーチ

「歴史に学ぶ防災論:関東大震災は生きている」
名古屋大学減災連携センター教授 武村雅之氏

5クラブ会長挨拶

各種報告・ハッピーバースデー・結婚記念日
(グリーンは高谷メン、古平メネット、柿沼メネットの3名)
閉会挨拶・閉会点鐘 金丸満男君
(ひがしクラブ会長)



今月はEMCのE(Extension)クラブ拡張とYES(Y's Extension Support)ワイズ新クラブ設立を目指す目的の基金の協調月間です。

栗本理事の提唱で、各部に於いてエクステンション委員会が立ち上げられているようです。

その成果は必ず数年後に形となって現れることでしょう。

9月16日には「第1回関東東部EMC事業委員会」も開催され、金丸EMC事業主査から、固定メンバーでEMC委員会を継続していただきたいとの意向が述べられ、各クラブからEMCへの取り組みに対する現状報告がありました。関東東部は会員132名、15名以上のクラブは3クラブのみであり、さらなる会員増強が望まれます。

更に標記のロゴを発表してスタートした日本YMCAのブランディング運動は、ワイズの重要課題であるEMCに対しても、大いに活用されるように期待したいところです。

(直前関東東部会員増強事業主査 柿沼 記)

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 14/16 88%

出席:9月例会(グリーンメン12名、メネット1名)計13名

【ニコニコ】 9月例会 13,000円 今期累計 24,000円

＜2017年09月 第一例会 報告＞

日時:2017年9月20日(水) 18:30~21:30
場所:場所:千代田区和泉橋区民館 2F
出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼・古平・佐野
高谷・西澤・西本(東)・布上(征)・平林・松本
(メネット)布上(信)



今月はメンバースピーチとして久しぶりに(株)蛇善 浅見隆夫会長のお話を伺った。グリーンメンバーの中で浅見メンの「蛇」のお話を聞いたことがない人は少数だが、改めて何うとやはり「蛇博士」のお話は面白い。

家業、「蛇善」は明治17年創業。元は漢薬を扱っていたが「蛇」に特化して浅見さんは四代目。現在の本社、蔵前のビルは昭和6年に建設。

その当時個人建築では東京市で100番目のビルだそう。初代は浅見善吉氏。そこから「蛇善」となった。五代目は息子さん、六代目はお孫さんが継ぐと伺っています。

さて、ここからが本題。世界で3000種の蛇がいて、そのうち25%は毒蛇。日本では蝮(マムシ)、ハブの2種に加え、ヤマカガシにも毒はあり、毒蛇に指定された。青大将(ねずみが大好物)、シマヘビ(これだけは共食いもする)は無毒蛇。カラスヘビ(真っ黒な蛇)、ウミヘビ(半数が毒がある)。



明治時代に漢薬の仲間がそれぞれ4種の分野に特化した。紀伊国屋(漢薬)・村上(すっぽん)・ハツ目(ハツ目鰻)・蛇善(蛇)という分類・分業のまま現在に至っている。皆、浅草で操業しており、仲良く続いている。

他にすっぽんと亀の違い、料理としてすっぽんを捌く方法などなど。そのすっぽんの殻、マムシの黒焼き、マムシのキバの見本、熊の胆等などが回覧され、恐る恐る手に取って眺める。粉にして飲めば体に良さそうな気がする。

蛇の主成分はアミノ酸、人間の体内では生成されないのをそれを薬用として取り入れれば体に有効な訳。すっぽんなどはコラーゲンの効果がある。話は飛んで、浅見クミ子さんが若々しいのは「スッポンパウダー」を常用しているからだ・という噂がある。話題は尽きないがこのあたりで。

浅見メンの卓話の前に松本主事から話があり、ブランディング運動への取り組みの経過を報告。少冊子を配布して、YMCAのロゴマークを10月より使用していくことを発表した。



なお、今後の展開については日本YMCA同盟、各地YMCA、特に6大YMCA(東京・横浜・大阪・神戸・広島・熊本)が積極的にそれぞれ進めていくことになっ

ている。本日のHappy Birthdayは佐野メン、西澤メン2名のメネットと早瀬ご夫妻(欠席)が該当。(布上 記)

＜2017年09月 第二例会 報告＞

日時:2017年9月6日(水)18:30~20:30
場所:千代田区和泉橋区民館 4F
出席:青木・浅見T・浅見K・稲垣・柿沼・布上S・布上N
林・松本・目黒

1. 配布資料

- 東日本区理事通信 9月号(印刷ファイル配布・布上)
- 柿沼45周年実行委員長提出 (45周年に関する提案 内容に異存なし)
- 目黒プログラム委員長提出 (45周年スピーカー候補 了解 交渉急ぐ)
- ユース事業関連ニュース配布(長津主任報告)

2. 報告・連絡事項

- ①横浜とつか・鎌倉合同納涼例会:加藤邸参加報告/浅見T・浅見K 2名出席 45名参加
- ②十勝ジャガイモ(8月末締め切り)・9月10日 十勝クラブ締め切り)X
- ③ユースボランティアリーダーズフォーラム 山中湖宿泊 *9月9日~10日開催 西澤メン参加 経費補助あり
- ④インビテーションキャンペーン
- ⑤夏まつり報告(総売り上げ875,880円/収益500,000円以上/グリーン寄贈22,640円) *抽選会:神田川ペア乗船券獲得者 <にほんご学院(小野さん)・御園生さん>
- ⑥9月例会卓話*メンバースピーチ 浅見会長「蛇の話」 *松本主事 ブランディングの件報告(15分)
- ⑦10月5クラブ合同例会の件 10月18日(水) 東陽町 特別講演:武村雅之氏 「歴史に学ぶ防災の議論」 *5クラブ:江東・グリーン・北・ひがし・ベイサイド
- ⑧その他 *ユースボランティア参加費用 5000円補助の件(西澤メン申請) 了承 (往復急行バス・現地ロッジ宿泊・食事代別途 総額15000程度)

3. 審議・協議事項

- ①第76回神田川船の会開催の件 稲垣実行委員長よりレジュメ配布(詳細別途)
- ②11月例会ゲストスピーカーの件 未定
- ③45周年記念例会の件 *2018年(平成30年)3月21日(水)「オーラム」 *プログラム予定13:00~17:00 礼拝・記念式・講演・会食・アトラクション *45周年スピーカーの候補:小澤弘氏を考えている。江戸と東京の歴史などに詳しい方。目黒メン交渉 *アトラクション 江戸の粋・「かつぼれ」検討 了解 青木メン交渉 *お知らせ第1報 9月13日までに作成送信 <ワイズ各会長、DBC、IBC マニラ> 原案作成 9/11 布上
- ④その他 *クラブメンバーで夫婦会員の会費を2名10万円とする。了承(西本晃子さん入会期待) *平林会計の交代⇒一般会計浅見クミ子メン ファンド会計は佐野守メン担当に。

(布上 記)



2017年9月23日(土・祝) 木場公園内特設コース
 Saturday, September 23, 2017 Kiba Park, Tokyo
 東京都江東区本場4丁目 Kiba 4cho-me, Koto-ku, Tokyo



グリーン参加 佐野・布上 N・青木・浅見 T・浅見 K・布上 S



いつものお役目荷物番: みなさん遊びに来てくれた

特別開催の子供ランは参加者 450 名、10:30 からスタート。開会式後 12:00 に本競技 6 名1チームでリレーがスタート。今回は 48 チームの参加。お手伝いはワイズ、学生、ボランティア全体を含めて 1500 名の参加者がありました。ラン参加費(10 万円)及び支援金(三菱商事・富士通・キャセイパシフィック・ジョンソンコントロールズ・岡谷エレクトロニクス・上田八木短資・フットマーク他多数の企業からの協賛)480 万円は障がいを持つ子供たちの支援金となります。(佐野 記)

Happy Birthday

10 月 高谷 禎宣(メン) 柿沼 澄子(メネット)
 古平 邦子(メネット)

 クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
 (2017-18 年度 会計:浅見クミ子)

<会計担当・口座番号 変更になりました>

みずほ銀行 駒込支店 店番号559 (普)1310439
 口座名 東京グリーンワイズメンズクラブ



2017 年 9 月 20 日(土)千葉市美術館「さや堂ホール」とレストラン「かぼちゃわいん」を会場に標記第 21 回関東東部部会が千葉クラブのホストで開催された。式典と記念講演を行った「さや堂ホール」は昭和 2 年に建てられた旧川崎銀行千葉支店の建物が、新しいビルの内部に包み込まれるようにしてそのまま復元保存されており、8 本の円柱が並ぶ空間は荘厳な佇まいであった。美術館ではボストン美術館所蔵の浮世絵「鈴木春信」展を開催しており、記念講演も当館館長、河合正朝氏がお話をされた。

第 1 部式典・第 2 部記念講演の後、第 3 部で鈴木春信展を鑑賞した。第 4 部の懇親会は 11 階のレストランで参加者ぎっしりの立食パーティー。ミニ演奏会は若者のバンドで和やかに。アピールタイムでは次回の沼津区大会のアピールを中心に各クラブが諸々行ったが、グリーンは来年 3 月の「創立 45 周年記念例会」のアピールを行った。参加者 60 名強。グリーン参加:青木・浅見 T・浅見 K・柿沼・布上 S・布上 N の 6 名。(浅見(隆) 記)

第 76 回 神田川船の会 催行

我らの切なる願いが「天」に届きました。2017 年 10 月 14 日(土)、この日天候は予報によると、前回中止にせざるを得なかった 5 月開催時と似ており、前日まで開催の可否を検討していたのです。東京 YMCA 会員部の意見は「雨天決行！」ということで、グリーンの高齢者も気合を入れ直して、小雨決行の決断をしたのです。なんと、朝 8 時に現地へ集合したところ、曇り空ではあるが雨はほとんど感じない。午前便も午後便も全くと言っていいほど雨は降らなかった。今回の乗船者約 250 名全員にビニール合羽と「あったかカイロ」を差し上げ、皆さん合羽を着込んで乗船、保温に大いに役立ちました。

今回は浅草橋の船宿三浦屋から出航し、神田川→日本橋川→隅田川→東京港→晴海運河→隅田川經由浅草橋へ帰航する、新ルートであり、集合場所、船への乗降、などもろもろ初めてでトラブルなく済んでほっとしている。



(布上 記)

第39回 『戦争と平和』 百田尚樹

(新潮新書2014年)

空前のベストセラーとなった百田尚樹氏の『永遠のゼロ』(2006年、大田出版)が出版されてから10年余が経過した。その後わが国を取り巻く国際情勢も激変し、2012年安倍内閣成立時以降、日本全体が右傾化しつつある背景の下で、この著作が現れた。全体は3章



からなり、①ゼロ戦とグラマン、②永遠のゼロは戦争賛美小説か？ 最後は③護憲派に告ぐ、で締めくくっている。第1章:ゼロ戦とグラマン

日米両国の戦闘機的设计思想を詳細に調べ、前者が攻撃型、後者が防御型と断じている。この考え方の違いが、戦争感、戦略・戦術に色濃く反映しており、現在の日本人のDNAへも引き継がれている。技術論から述べれば、日本の戦闘機製造技術、戦闘機操縦技術は当時でもトップクラスであったようだ。しかし、軍指導部の防御を無視した楽観的指導方針、データを軽視する思い込み型思考回路、危機管理能力の欠如などが敗戦の原因だったと指摘している。言い換えれば、戦争指導者の失策が、敗戦の主原因であると断じている。

第2章:『永遠のゼロ』は戦争賛美小説か？

著者の父を始め家族の中に戦争体験者が居て、その何人かから悲惨な体験を聞き出すにつれ、この貴重な証言を後世に残す必要があるとの思いがこの著作の動機である。決して戦争を美化しようと思った訳ではない。その証拠にリベラルと称するマスコミからも中傷を受け、同時に右翼からも痛烈に批判された。戦争の悲惨さを描き、二度と戦争をすまいと決心してもらいたいからこそ、この著作を世に問うたと言う。ただし、特攻隊員として戦争末期の彼等の戦いが全くの無駄であった訳ではなく、結果として現在の我が国の平和に少なからず貢献をしていると述べている。

第3章:護憲派に告ぐ

スイスやルクセンブルグの事例を挙げて、戦争抑止についてのリアリティを説いている。さらに現在の自衛隊の限界、戦争抑止力としての集団的自衛権の必要性、マスコミ対策(放送法改正)、秘密保護法、一連の安保法制、共謀法など安倍総理の進める安保平和論を是としている。たしかに平和論は、机上の空論であってはならない。欧州や中東、アジアの現状を見るにつけ、大国の領土的野心、経済的野心などのエゴが見え隠れする。憲法前文の『平和を愛する諸国の公正と信義に信頼して・・・』というフレーズを文字通り信じられる状況ではないことも分かる。わが国の近隣で対峙する国々を考えれば『徹底したリアリストであれ!』との主張も肯首できる点がある。

しかし、憲法9条の存在の下で、戦後72年間にわたって、一人の敵兵士を殺さず、一人の自衛隊員も殺されずに来たわが国の平和の奇跡についての検証も必要ではないだろうか？ (西澤紘一 記)

▼ベビークラス、プール100年特別イベント

「家族ベビー」ご報告

東京YMCAが1917年に日本初の室内温水プールを設立して今年で100周年。また1976年に日本で初めてのベブースイミングが行われてから41年になります。

これを記念してベブースイミングクラスが9月2日(土)、『家族ベビー』を実施。

普段は親子で行っているクラスに、お父さん・お母さん、そして兄弟も参加。家族みんなで一緒にプールに入りました。参加したのは7家族20名。

通常のプログラムに加えて、昔のYMCAプールで行われていたリレーやパン食い競争などをして楽しみました。プールはとっても賑やかで、ママパパの声、子どもたちの笑い声、そして泣き声(?)響き渡りました。プールの後は、お食事会。お友だちの家族とリーダーと一緒に楽しい時間を過ごしました。



▼国際協力募金一斉街頭募金報告

9月16日(土)、毎年恒例の国際協力一斉街頭募金を新宿駅周辺で実施しました。途中、何度か雨がぱらつくこともありましたが、13時から17時の4時間にわたり予定通り呼びかけを行うことができました。

当日、東京YMCAの各コミュニティーセンター、学校、幼稚園をはじめ各拠点から集まったボランティアは総勢184名。新宿駅東口、西口、南口の3カ所に分かれ、幼児からシニアまで一緒に街頭に立ち、声を合わせて支援を呼びかけました。当日寄せられた募金総額は215,717円。バングラデシュYMCAの働くこどもたちの学校(NFP E)をはじめ、今夏の大洪水で被災したバングラデシュの子どもたちのために用います。



(主事 松本竹弘 記)